

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 令和元年度通常総会 議事録

1. 開催日時 令和元年6月1日14時00分～15時50分
2. 開催場所 仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山無番地）
3. 有効出席数 正会員総数 1532名中 935名
（内 当日出席者 104名、議長委任者 718名、書面表決者 113名）
4. 審議事項、議事の経過の概要及び議決の結果

<議長の選出>

定刻、当法人定款の規定により、中野事務局長が議長の選出について出席者に諮った結果、総会に出席した正会員の中から、佐藤忠之さんが議長に推薦され選出された。議長は総会の開会を宣言、事務局より正会員総数、有効出席数、書面表決結果の報告を行い、議長は本総会が適法に成立する旨を宣した。続けて、議事録署名人の選出について出席者に諮った結果、佐藤由紀子さん、赤川泉美さんが選出された。また、本日出席の理事・監事の紹介があり、議案の審議に入った。

<第1号議案>平成30年度事業報告並びに決算及び監査報告について

(1) 議案説明

総会議事資料に基づき、鳥羽理事より事業報告の説明が、中野理事より決算の説明があった。また、小藤監事、長橋監事より、「監査の結果、法令及び定款に違反する重大な事実はなく、財産及び収支の状況はいずれも適正妥当であった」との監査報告があった。

(2) 審議結果

質疑応答の後、参加者の挙手により、賛成多数にて承認された。

<第2号議案>令和元年度事業計画並びに予算について

(1) 議案説明

総会議事資料に基づき、小池理事より事業計画の説明が、中野理事より予算について説明があった。

(2) 審議結果

質疑応答の後、参加者の挙手により、賛成多数にて承認された。

<第3号議案>令和元年度役員を選任について

(1) 議事説明

総会議事資料に基づき、平井理事より、令和元年度の理事として亀井直人、小池秀裕、

竹本記子、中西百合、中野功、本宮大輔、小栗由香、齋藤俊哉、高橋尚矢、津田壮彦が提案された。あわせて、監事に小藤輝正、上井靖が提案された。

(2) 審議結果

質疑応答の後、参加者の挙手により、賛成多数にて承認された。

なお、被選任者は、席上、その就任を承諾した。

以上をもって本日の議事は終了し、議長は15時50分閉会を宣した。

令和元年6月1日

住所 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目12番8号

名称 特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

以上、本会議の議事及び結果が正確であることを証するため、議事録を作成し、議長及び議事録署名人はこれに署名捺印する。

令和元年6月1日

議長 佐藤 忠之 印

議事録署名人 佐藤 由紀子 印

赤川 泉美 印

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 令和元年度通常総会 議事録

－補足資料（質疑応答）－

<第一号議案>平成30年度事業報告並びに決算及び監査報告について
(議事なし)

<第二号議案>令和元年度事業計画並びに予算について
議長より、挙手による質問を受け付けたところ、以下の通り質疑応答があった。

意見：広報戦略について、「広げよう」でなく、「広まるにはどうしたらいいか」を考えたほうがよい。

質問：調査研究事業について、プロジェクトで生まれたリソース成果というのは、教育事業につながるのか。

回答：将来のコンテンツ見直しのヒントや材料になることは十分ある。教育普及事業にも生かしていきたい。

質問：支援助言事業のファシサが委員会「課題やニーズを丁寧にヒアリングし、会員を適切にコーディネートする」というのは具体的にどうするのか。会員の属性など考慮してやれるのか。

回答：依頼相談があったときにニーズをヒアリングする。その後、誰にどのような体制でスケジュールをどうするかを調整するのが実際である。どういう人がどういうことができるかというデータをまとめることは必要で、委員会の中で情報を出し合い話し合いながら進めている。本人から言われることと周りから本人について伺うのではギャップもあり、現在は委員会内で話し合いしながら進めてるのが現状である。

質問：P18 事業計画のポイント「原点を見つめ直す」というのは具体的にどうするのか。

回答：P20 ミッション組織運営にかかわるところ 1)にあたる。誰がいつ見つめ直すのがポイント。理事会だけでやるのは違う。ファーストミーティングがチャンス。本当にどうやるのかは理事会の中には答えがない。これ以降のミーティングで話ができればと思う。

意見：（「原点を見つめ直す」について）ここまで掲げているのに方法が全くイメージできていないのはおかしい。

質問：P19、11行「巨大イベント」について、一般会員もアイデア出しができるのか、理事会だけで決めていくのか。

回答：今回のファーストミーティングで「人を知る」と「コトを知る」があり、コトの中には巨大イベントが含まれる。理事会だけではない。このことについてもファーストミーティングの範疇と考えている。ステークホルダーが集って話をしていきたい。関心がある方は是非一緒に考えていきたい。

質問：ワクワクするびっくりイベントの具体的なイメージは？

回答：これまでのシンポジウム等、全国津々浦々のファシリテーターが集う場は価値があった。多くのファシリテーターが集うという規模感を「巨大」としている。どういった感じでイベントをするかはファーストミーティングで話をしたい。現時点では具体的なイメージを出さず、皆で話したい。

意見/提案：赤字を出している。会費を値上げするという策はどうか。

意見：会費とセミナー以外の収益プランを考えてはどうか。そのために、考えてくれる人をつのってはどうか。

意見：支部とサロン、テーマ型サロンとプロジェクトの区別がよくわからない。詳しい説明資料があるとよい。

質問：「研究開発費」に予算がない。研究開発費はどのようにしたら予算化できるか。

回答：予算を確保するために（現段階では研究開発費はプロジェクトが該当するので）やりたいということを宣言してほしい。私たちも活動に対して応援はしていきたい。なお、「プロジェクト」の予算 60,000 円は「会場使用料」ではなく「研究開発費」が正しい。この場を借りてお詫びして訂正する。

意見：FAJ はボランティア活動として専任スタッフを置いていない。システム障害対応など無償でやる必要がないのでは。お金を受け取れない人は、募金をする等やっていたいでいる人にお金を出すことを考えてはどうか。

質問：P24 予算について「サロン（17 か所）」交通宿泊費 70,5 万円の内訳を教えてください。

回答：地域型サロン（沖縄を除く）10 拠点×3 万円で 30 万円、沖縄は 4.5 万円、テーマ型サロン 3 拠点で 9 万円、加えてテーマ型新規 3 拠点で 18 万を含んでいる。

意見：P20 組織のあり方運営のやり方が述べられているが、ミッションについても、抽象的なので、ミッションを見直すことも検討してほしい。

意見：今朝の発表を聞いて可能性を感じた。ファシリテーションは手段として感動的に伝わる。テーマを決めてコレクティブインパクト、日本各地で同じテーマで動いて、教育をどこまで変えたのか、全国レベルのネットワークを活かした活動になるとワクワクする。

<第三号議案>平成 30 年度役員を選任について
(議事なし)

以上